

令和2年度 林業普及週間現地情報 (10/5～10/9)

森林管理課

センダン育苗指導

10月7日(水)

八重山農林水産振興センター農林水産整備課は、八重山森林組合の苗畑にて、八重山森林組合職員及び作業員を対象に、センダンの育苗指導を行った。

当該センダンの稚穂は、昨年12月に同組合の苗畑(床)でまきつけし、発芽したものである。今回は、鉢上げ作業を参加者全員で行った。

まず、床から採取したセンダンの稚穂の根を水に浸し、稚穂の葉を上部から2枚程度残して剪定後、ロングポットに移植した。剪定する理由は、床から稚穂を採取する際に根を切ってしまうため、その分、地上部の葉を落とし、給水と蒸散のバランスを取るためである。

今後も定期的に育苗状況を確認し、八重山林業研究会員間で、早生樹の育苗に関する知見を深めていきたい。



作業1 床から採取した稚穂の根を水に浸す



作業2 葉を剪定後、移植



鉢上げ後



今回鉢上げした苗

(報告者：八重山農林水産振興センター 金城)